

西洋服飾文化史

鈴木 桜子

服飾文化学科 1年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

現在、私たちは洋服を着た生活をしています。しかし日本における洋服の歴史は実質100年の歩みでしかありません。私たちが日本で洋服を着るようになるその背後には、西洋文化の中で培われてきた何千年もの歴史があるのです。本授業の方針としては、有史以来、民族、地域、風土、宗教によって形成されてきた西洋文化を服飾の視点から探っていきます。また、身体 - 衣服 - 空間の視点から時代の美しさを表わしてきた芸術・建築様式との関連性を重視していきます。

到達目標 (学修成果)

西洋服飾の歴史について、文化史の観点から理解できるようになることが本授業の到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の必修科目であり卒業要件科目です。また学芸員課程の履修科目の一つになっています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートに関する評価をし、授業内でフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。毎回プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

初回授業で説明する「授業の受け方・出欠について・評価について」をきちんと把握理解した上で受講していきましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 服飾と様式について	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	. 古代 エジプト様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
3回 鈴木	ギリシャ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
4回 鈴木	ローマ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
5回 鈴木	. 中世 初期キリスト教様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
6回 鈴木	ビザンティン様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
7回 鈴木	ロマネスク様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
8回 鈴木	ゴシック様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
9回 鈴木	. 近世 ルネサンス様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
10回 鈴木	バロック様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
11回 鈴木	ロココ様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
12回 鈴木	. 近代 新古典主義様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
13回 鈴木	ロマン主義	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
14回 鈴木	歴史主義様式	復習：前回ノートの確認 + 復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ + プレゼンテーション	総復習テスト、プレゼンの準備	40分

日本服飾文化史

梅谷 知世

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近代にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、適宜、教員からの質問についてグループ内でのディスカッションを行います。

到達目標 (学修成果)

- 1、原始・古代から近代までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- 2、各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回の課題 (授業内容の復習) について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』(東京堂出版) 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史① ③』(ゆまに書房)
その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	日本服飾文化史の視点	シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	縄文・弥生時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	古墳時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	正倉院の服飾・染織	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	平安時代の服飾(1)：和様の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	平安時代の服飾(2)：重ね色目	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾：武家服飾の成立と発展	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	小袖服飾の確立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	江戸時代の服飾(1)：武家服制の確立と町人服飾の充実	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	江戸時代の服飾(2)：小袖の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	近代の服飾：西洋服飾の導入と和装の近代化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。	120分

ファッション史

鈴木 桜子

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われるがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

上記より本授業の方針として、近現代を中心に、芸術・デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていく視点を重視していきます。

到達目標(学修成果)

時代の造形思考を学ぶことによって、学生一人ひとりが衣服に対する、デザインに対する考え方が持てるようになること、尚且つこれからの衣服の在り方について、多様な視点で見据えていこうとするきっかけが持てるようになることが本授業の到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修であり卒業要件科目です。1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノート、補足ノートに関する評価をし、授業内でフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

杉野服飾大学オープン教育リソース グラフィック年表「現代ファッションの100年」

本学掲載P <https://www.sugino-fc.ac.jp/about/resources/>

参考文献

授業内容に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

*補足ノート=各回の授業ノートを基に、各自で学びを深めていくための補足学習用ノート

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 現代ファッションの100年	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・デザイン運動とファッション ジャポニスム	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
3回 鈴木	改良服運動	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
4回 鈴木	アール・ヌーヴォー	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
5回 鈴木	ウィーン工房	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
6回 鈴木	デ・スティールとロシア構成主義	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
7回 鈴木	バウハウス	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
8回 鈴木	・モードの革新者たち マドレーヌ・ヴィオネ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
9回 鈴木	ガブリエル・シャネル	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
10回 鈴木	エルザ・スカパレリ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
11回 鈴木	戦後のモード -ディオールからサンローランまで-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
12回 鈴木	モードの多様化 アンチ・モード-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
13回 鈴木	日本人デザイナーたち	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
14回 鈴木	北欧デザインとファッション	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ プレゼンテーション(授業を振り返って)	予習: 総復習テスト+プレゼン準備	90分

近代日本モード史

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

明治時代以降の日本では西洋文化の影響を受けて近代化が進められ、服飾についても同様であったが、洋服はすぐに普及したのではなく、少しずつ段階を踏んで浸透していった。欧米各国との対等な外交関係を目指し、明治初期から男性の公的な装いに洋装が採用される一方、多くの人びとはまず、和装の一部に西洋風を取り入れる和洋折衷形式を作り上げた。大正後期以降は職業婦人の増加等を背景に洋装女性も現われ、この時期に創設された洋裁学校は、第二次世界大戦後の洋装の普及に大きな役割を果たした。このような近代日本の服飾文化について、背景にある社会や文化の状況とともに解説する。

到達目標(学修成果)

1. 日本人の衣生活に洋服がどのような経緯で取り入れられ浸透していったかを理解する。
2. 伝統的な美意識と西洋趣味の融合した近代の和装の展開について理解する。
3. 服飾を通して、近代日本社会のあり様や人々の精神性を理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業認定科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	ガイダンス	シラバスを確認し授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	明治時代の洋装 近代国家建設と洋服導入	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	和装の近代化① 東髪の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	和装の近代化 洋装品をとり入れた和装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	和装の近代化③ 女学生の袴姿	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	和装の近代化④ 明治・大正・昭和の着物文様	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	和装の近代化 百貨店による流行の創出	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	大正時代の洋装 女性の洋装の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	モダン都市文化とモダンガールの装い	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	1960年代以降のファッションと社会	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。	120分

染織史

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

到達目標(学修成果)

- ・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
- ・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学時の連絡等にメールを使用する必要があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある金曜日(14時～14時30分)第3校舎講師控え室

備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	染織(テキスタイル)の歴史と現代の服飾の関係(ディスカッション)/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	40分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法 綾、羅、錦 / 正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 縫い取り織(二階織物、唐織)、縺子織(緞子、綸子)/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 緋、縞、綴 / 近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 描絵、摺絵、絞り染め、板締め/天然染料の染色、江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 糊防染 型染(小紋、中形)/ジャポニスムと染色型紙	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 蝸防染(臈織、更紗)、糊防染 友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史まとめ 日本の染織の歴史展開、服飾史との関係/技法と意匠の関係/染織技術の近代化	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	近世の染織意匠 友禅風意匠と友禅染の成立	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	近世の染織意匠 光琳文様と琳派の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近世の染織意匠 山東京伝の見立て小紋と江戸の意匠	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニスムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

服飾史料研究

菅野 ももこ

服飾文化学科 2年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

服飾の歴史を辿ることは、新たな創造に繋がります。そのために「服」について様々な角度から学ぶことは必要不可欠と言えます。本授業では、「言葉で綴られた服飾」、「描かれた服飾」、「再現された服飾」への学びを通じて、必要な調査方法を学びます。

到達目標 (学修成果)

服飾について多角的な学びを実践できる。実物資料を観察、調査する前段階としての観察結果の整理や記録する方法を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。演習授業です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション 国内外の博物館コレクションについて学ぶ	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	言葉で綴られた服飾 - コラムを読み解く -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	言葉で綴られた服飾 - 論文を読み解く -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	言葉で綴られた服飾 - 文学作品を読み解く -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	言葉で綴られた服飾 - プレゼンテーション準備 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	言葉で綴られた服飾 - プレゼンテーション準備 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	プレゼンテーション	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	描かれた服飾 - 本学図書館蔵貴重書Aの閲覧 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	描かれた服飾 - 本学図書館蔵貴重書Bの閲覧 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	描かれた服飾 - プレゼンテーション準備 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	プレゼンテーション	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	再現された服飾 - 歴史衣裳を着用した人形を観察し学ぶ -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	再現された服飾 - プレゼンテーション準備 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	プレゼンテーション	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	様々な角度から服飾を学ぶことの意味についてディスカッション (アクティブラーニング)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

民族衣裳論

梅谷 知世

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

世界各地の民族服飾はそれぞれの自然環境や文化環境の中で生まれ、時代とともに変化しながら今日に受け継がれてきました。この授業では、アジアを中心にアメリカやヨーロッパなど世界の民族服飾を取り上げ、人びとの手仕事によってつくられてきた民族服飾の形、素材、織・染め・刺繍などの技法、文様について学びます。また、民族服飾がどのような背景の中で成立し変化してきたのか、民族服飾が民族にとってどのような意味をもつのかについて、背景にある気候風土や暮らし、信仰、異文化交流など多様な視点から考えます。教員からの質問についてグループ内でのディスカッションも行います。

到達目標(学修成果)

1. 民族服飾の多様なあり方を知り服飾文化に対する視野を広げる。
2. 民族服飾の成立・変化と自然環境・文化環境との関係性や、民族服飾の意味について理解する。
3. 民族服飾を通して異文化への関心を深める。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内課題や期末レポートについて、授業時またはCampusMagic等でコメントを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

国立民族学博物館編『国立民族学博物館展示案内』(2017)

その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

世界各地の民族に関心を持ち、新聞やインターネットの報道に注意するようにしてください。

美術館や博物館に足を運び、民族服飾の実物を見学する機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	民族服飾とは何か	予習: シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	民族服飾を学ぶ視点	予習: 参考文献を図書館で確認する。	90分
3回 梅谷	アメリカの民族服飾(グアテマラ)	予習: グアテマラの気候風土とマヤ民族の歴史について調べる。	90分
4回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・旗袍)	予習: 近代中国の歴史について調べる。	90分
5回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・少数民族)	予習: 中国の少数民族の居住地域を確認する。	90分
6回 梅谷	博物館見学	復習: 博物館見学のレポートを作成する	90分
7回 梅谷	東アジアの民族服飾(アイヌ)	予習: アイヌ民族の歴史について調べる。	90分
8回 梅谷	東アジアの民族服飾(琉球)	予習: 琉球王国と近現代沖縄の歴史について調べる。	90分
9回 梅谷	東南アジアの民族服飾(ラオス)	予習: ラオスの気候風土と歴史について調べる。	90分
10回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド)	予習: インドの気候風土と歴史・宗教について調べる。	90分
11回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド西部)	予習: インド西部の気候風土について調べる	90分
12回 梅谷	西アジアの民族服飾(サウジアラビアなど)	予習: 西アジアの気候風土と宗教について調べる。	90分
13回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(スコットランド)	予習: スコットランドの気候風土と歴史について調べる。	90分
14回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(東欧)	予習: ブルガリアとルーマニアの気候風土と歴史について調べる。	90分
15回 梅谷	まとめ	復習: これまでの授業内容を振り返り十分理解する。	90分

現代ファッション論

鈴木 桜子

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

到達目標(学修成果)

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回プリントを配布します。

参考文献

授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・ファッションと身体 コルセット	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
3回 鈴木	化粧	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
4回 鈴木	女性の服・男性の服	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
5回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
6回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振り返り	30分
7回 鈴木	・ファッションとメディア ファッション写真	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
8回 鈴木	ファッション雑誌	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
9回 鈴木	かわいい世界	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
10回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
11回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振り返り	30分
12回 鈴木	・ファッションと展覧会 「ファッションと色彩」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
13回 鈴木	「ラグジュアリー」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
14回 鈴木	「○○○○」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価	予習：プレゼンテーションの準備	100分

ファッションと環境

和田 早苗

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

環境という側面からファッション（衣服）を取り上げて、製造される過程や使用時、廃棄の際に環境へどのような影響を与えているのかを考えていきます。

到達目標（学修成果）

ファッション（衣服）と環境について、生産者側と消費者側の両方の立場に立って自分なりの考えを持ち、意見を共有して他者の意見から様々な考え方や見方について学び、自分の考えを深めることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は服飾文化学科の必修科目で卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内提出物は次の授業内でフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。必要に応じて資料を配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業で紹介します。

備考

授業の進捗により授業計画が変更となる場合もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 和田	ガイダンス 環境とは	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
2回 和田	SDGsとファッション（1）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
3回 和田	SDGsとファッション（2）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポート作成の準備をする。	45分
4回 和田	SDGsとファッション（3）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポートを作成する。	60分
5回 和田	SDGsとファッション（4）小レポートの発表	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
6回 和田	衣服の原材料の面から環境を考える（1）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
7回 和田	衣服の原材料の面から環境を考える（2）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
8回 和田	衣服の生産と環境（1）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
9回 和田	衣服の生産と環境（2）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
10回 和田	生産者側から環境とファッションを考える	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
11回 和田	衣服の着用と環境への影響	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
12回 和田	消費者として環境とファッションを考える（1）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
13回 和田	消費者として環境とファッションを考える（2）環境ミニレポート	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポート作成の準備をする。	45分
14回 和田	消費者として環境とファッションを考える（3）	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、プレゼンに向けての準備をする。	60分
15回 和田	「ファッションと環境」小レポート発表、まとめ	これまでの授業をふり返る。	60分

ユニバーサルファッション論

笹崎 綾野、柊 伸江

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ユニバーサルファッションとは、年齢や性別、体型、身体機能、障害等にかかわらず、すべての生活者がファッションを楽しむ社会づくりを目指した概念である。社会やライフスタイルの変化に伴い、ファッションへのニーズが多様化する中、より多くの生活者が快適な衣生活を実現できるファッション市場の形成が求められている。本科目では、多様性が顕著な高齢者・障害者を対象とし、体型特性と衣服の関係性、実務経験を基にしたデザインによる障害者支援の事例など、ユニバーサルファッションについて幅広く講義する。

到達目標(学修成果)

- ・「ユニバーサルファッションの基礎知識」を得るため、高齢者や障害者の身体特性や生活行動を理解し、ユニバーサルファッション(衣服)の工夫として提案できる。
- ・障害者支援に関する知見を拡げるため、社会やファッション産業の課題を発見し、障害者支援におけるデザインの可能性について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科必修の講義科目である。服飾文化に係る幅広い知見を得ることを目指している。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

第3回授業、第15回授業にて課題の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じて、プリントを配布する。

参考文献

見寺貞子・笹崎綾野『ユニバーサルファッション おしゃれは心と身体のビタミン剤』織研新聞社 2020

オフィスアワー・研究室

教務課、講師控室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 笹崎	オリエンテーション/ユニバーサルファッションとは	復習;ユニバーサルファッションの理念と7原則の確認	30分
2回 笹崎	高齢者・障害者の体型特性と衣服設計	復習;高齢者・障害者ファッションの事例収集	60分
3回 笹崎	ユニバーサルファッションの工夫【課題A】	予習;【課題A】についてまとめる	120分
4回 柊	高齢者・障害者の精神特性とファッション事情	復習;高齢者・障害者の特性についてまとめる	60分
5回 柊	高齢者・障害者支援とファッション	復習;身の回りの事例を考察する	60分
6回 柊	障害児や特別な支援が必要な方の特性とファッション事情	復習;障害児や特別な支援が必要な方の特性についてまとめる	60分
7回 柊	リメイクとユニバーサルファッション	復習;リメイクの事例収集	60分
8回 柊	障害者アートとファッション	復習;障害者アートとファッションに関する事例収集	60分
9回 柊	障害者アートとファッション	予習;障害者アートとファッションに関してまとめる	60分
10回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン(企画)	復習;企画の流れについて確認	60分
11回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン(製造)	復習;製造の流れについて確認	60分
12回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン(販売)	復習;販売の流れについて確認	60分
13回 柊	SDG'sとユニバーサルファッション	予習;SDG'sとユニバーサルファッションに関する事例収集	60分
14回 柊	ユニバーサルファッションの提案【課題B】	復習;【課題B】についてまとめる	120分
15回 柊	【課題B】発表と授業のまとめ	復習;【課題B】の内容を復習する	30分

リ・ファッション実習

井口 多恵子

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

1年次「サステナブルファッション概論」で得た知識をもとに、アパレル業界、自治体に取り組んでいる環境に配慮した活動や現状を知り、それらの取り組みを理解したうえで古着や不用衣料品からアップサイクルになる衣料品について考え、実制作に繋げる。制作するうえでさらに必要な服飾の知識や縫製技術を修得する。

到達目標(学修成果)

アップサイクル作品の制作を通して応用力、発想力を身に付ける
作品制作に必要な縫製技術を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件単位の科目。服飾に係る現代的な問題(SDGs等)を解決する能力を備える科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出される課題、作品は点検後評価し、授業内に返却する。学生ポータルサイトにコメントする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

基礎テキスト 杉野学園 ドレメ式原型 杉野学園 PATTERN MAKING ・ 杉野学園 SEWING ・ 杉野学園

参考文献

必要に応じて適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします

備考

状況により内容、日程に変更があります
準備学修の時間は各自が必要な時間を行うようにしてください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	授業の概要について、著作権について さまざまなアイテムの服の形を観察する	予習: シラバスを読んで確認する	30分
2回 井口	パンツについて 基本パンツ製図(1/2縮尺) 提出	復習: 遅滞箇所を行う	30分
3回 井口	課題作品: パンツ部分縫製	復習: 遅滞箇所を行う	30分
4回 井口	課題作品: パンツ部分縫製 情報収集: 訪問先の自治体について	復習: 遅滞箇所を行う	90分
5回 井口	環境に関する取り組みについての講義、見学(自治体訪問)	復習: 環境に関する取り組みをまとめる	60分
6回 井口	実物制作(アップサイクル作品)使用する素材を調べる 制作テーマ考案 デザイン考案	復習: 遅滞箇所を行う	30分
7回 井口	実物制作(アップサイクル作品)制作テーマ考案 デザイン考案 縫製について グループディスカッション	復習: 遅滞箇所を行う	30分
8回 井口	実物制作(アップサイクル作品)制作作品についてのディスカッション	復習: 遅滞箇所を行う	30分
9回 井口	実物制作(アップサイクル作品)パターンメイキング またはドレーピング	復習: 遅滞箇所を行う	30分
10回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習: 遅滞箇所を行う	30分
11回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習: 遅滞箇所を行う	30分
12回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習: 遅滞箇所を行う	30分
13回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習: 遅滞箇所を行う	30分
14回 井口	実物制作(アップサイクル作品)仕上げ プレゼンテーション資料作成	予習: プレゼンテーションの準備 復習: 遅滞箇所を行う	60分
15回 井口	プレゼンテーション発表、提出作品のディスカッション まとめ	予習: プレゼンテーションの準備	60分

レプリカ製作（民族衣裳）

菅野 ももこ

服飾文化学科 2年 後期 必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

世界各国、各地域には、その土地の気候や信仰にあわせて、多様な発展を遂げてきた衣裳が存在します。本授業では、杉野学園衣裳博物館が所蔵する東欧の民族衣裳（チュニック）をテーマとします。限られた素材を余すところなく使用する合理的な裁断、縫製方法を取り入れて製作された衣服の構造について理解を深めます。材料にはシーチングを使用します。

到達目標（学修成果）

本学衣裳博物館が所蔵する実物及び、先行研究で紹介されている展開図をもとにレプリカを製作する。更に、その過程で得られる服を作るための様々な方法を習得し、新たな創造の糧となるよう理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。実験実習授業です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション - 昨年度の作品とレポートの紹介 -	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	合理的に素材を活用した衣服の形について学ぶ - ブルガリア、ハンガリー、ルーマニアの衣裳について -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	製作対象資料の観察と記録	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	製作対象資料の計測と記録	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	型紙作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	紙を使用して縫製手順の確認	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	実物縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	実物縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	実物縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	実物縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	製作したレプリカ資料の観察及び着装	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	レポート作成 参考資料の検索	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	レポート作成 必要画像の撮影、整理	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	レポート作成 - 画像と参考文献の整理 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	プレゼンテーション まとめ	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

衣の伝統と現代 (衣のものづくり)

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本で受け継がれてきた衣にかかわる多様な染織技法のうち、特に注染を中心とする型染めの表現効果、意匠、受容のありかたの関係について、講義により今日に至る歴史展開に対する理解を深め、また作品の熟覧と染色体験により実践的に学びます。伝統的な衣のものづくりの発展的継承の可能性について、企画と製作の現場に触れながら具体的に考え、広い視野に基づく提案力を養います。

到達目標 (学修成果)

- ・関東圏の注染を中心とした伝統的な型染めによるもの作りの歴史と現在、課題を把握し、発展的な継承につながる情報発信や提案を試みることができる。
- ・注染の技法特性を理解し、これを活かした図案もしくは意匠原案を示すことができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業課題、レポート提出には学内システム利用予定。学外活動関係連絡にはメールも活用するため、担当者のアドレスを授業時にお知らせします。授業内の課題と授業期間中のレポートについては、授業内でフィードバックを行います。期末課題については学内システムでフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

大久保尚子「東京中形浴衣の近代化と注染の展開 同時代化する手仕事」2022年6月 授業時に配布
その他授業内で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：授業のある金曜日(12時30分～13時)第3校舎講師控え室 後期：なし(連絡先：本校舎一階教務課)

備考

学外での染色体験、企業訪問、見学の実施回は、関係機関の事情等により変更する場合があります、これと連動して教室での授業の内容も前後入れ替わる可能性があります。詳細は授業時に示します。染色体験、展覧会入館料、現地への交通費は実費が必要となります。学外活動先は23区内を予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	日本の伝統的染織技法に関する基礎知識の概説。	予習：シラバスに目を通す。東京本染注染サイトを閲覧する。 https://tokyochusen.jp/	30分
2回 大久保	型染めの歴史の概説、技法特性と意匠、用途の関係。注染技法の概要。	予習：東京本染注染サイトを閲覧する。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
3回 大久保	江戸東京圏の注染技法とその歴史、意匠、受容(用途)の概説。他技法との比較、地域特性としての配り手拭いの文化。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
4回 大久保	昭和期注染手ぬぐい作例にみる技法を活かす意匠。体験的理解のための図案制作 注染図案の基本。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
5回 大久保	注染体験1 注染技法の特性を、体験を通し理解する。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：レポートに取り組む。	30分
6回 大久保	注染体験2 体験工房の活動について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：レポートに取り組む。	30分
7回 大久保	伝産法による「伝統的工芸品」指定とは。伝統的工芸品産業の抱える課題と支援策、東京本染注染の場合。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
8回 大久保	伝統工芸 青山スクエア見学。伝統的工芸品産業振興の取り組みについて学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	30分
9回 大久保	江戸東京の型染めゆかたの文化、その近代化と注染浴衣地製作の展開について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
10回 大久保	図案製作 メッセージ性のある手拭い図案。秀作にみる意匠の発想。図案、染め技法と伊勢型紙系の型紙製作。歴史と現状。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
11回 大久保	製造問屋訪問 ゆかた地問屋の歴史と注染による新たな取り組み。/別注手ぬぐい製作を多く扱う問屋の仕事を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
12回 大久保	注染工場見学 職人の技術力、製作現場を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
13回 大久保	製造問屋訪問 手ぬぐい、ゆかた地問屋の注染による新たな取り組みを知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
14回 大久保	ゆかた、手ぬぐいを手掛けるデザイナーの仕事を知る。(ゲストスピーカーとの対話)手ぬぐい図案のプレゼンと講評。	予習：図案に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	60分
15回 大久保	東京本染注染の特色、魅力を伝える情報発信、商品企画の提案の素案をプレゼンし、相互に意見交換を行う。	予習：最終課題の概要を準備する。 復習：最終課題提出準備。	120分